

JCL JOB ステートメント

JOB ステートメントは、ジョブの開始を示し、システムにそのジョブの処理方法を伝えるために使用。

// ジョブ名 JOB 定位置パラメータ [, キーワードパラメータ]... [コメント]

キーワードパラメータ

パラメータ	値	目的
CLASS= ジョブクラス	A ~ Z、0 ~ 9	ジョブをジョブ・クラスに割り当て
COND=((戻りコード , 演算子)...)	演算子 :GT(>)、GE(>=)、EQ(==)、LT(<)、LE(<=)、NE(!=)	ジョブが処理を続行するか終了するかの判定
MSGCLASS= クラス	A ~ Z、0 ~ 9	ジョブ・ログを出力クラスに割り当て
MSGLEVEL=([ステートメント] [, メッセージ])	ステートメント (0:JOB ステートメントのみ、1: 全ての JCL およびプロシージャステートメント、2:JCL ステートメントのみ)、メッセージ (0:JCL メッセージのみ、1:JCL、JES、およびオペレータメッセージ)	ジョブ制御情報をジョブ・ログで印刷するように指示
NOTIFY= ユーザ ID		バックグラウンド・ジョブが完了した時点で、システムがメッセージをユーザ ID に送るように要求
TIME=	分、秒、1440: 無制限、NOLIMIT: 無制限、MAXIMUM: 最大時間 (357912 分)	ジョブがプロセッサを使用できる時間の最大値を指定
TYPRUN=	COPY(SYSOUT にコピー)、HOLD(ジョブを保留)、JCLHOLD(JCL 処理前にジョブを保留)、SCAN(構文エラーチェック)	特殊なジョブ処理を要求
USER= ユーザ ID		ジョブの所有者を RACF、SRM、および他のシステム・コンポーネントに知らせる

例

```
//ALPHA JOB 843,LINLEE,CLASS=F,MSGCLASS=A,MSGLEVEL=(1,1)
//LOS JOB , 'J M BUSKIRK',TIME=(4,30),MSGCLASS=H,MSGLEVEL=(2,0)
//MART JOB 1863,RESTART=STEP4 THIS IS THE THIRD JOB STATEMENT.
//TRY8 JOB
//RACF1 JOB 'D83,123',USER=RAC01,GROUP=A27,PASSWORD=XYX
//RUN1 JOB 'D8306P,D83,B1062J12,S=C','JUDY PERLMAN',MSGCLASS=R,
// MSGLEVEL=(1,1),CLASS=3,NOTIFY=D83JCS1,
// COND=(8,LT)
```